

至レリ而ヒテ廿日夕刻、本部理事小畠等三師節長
少西支那事業ト會見奉合也ノ上帰京シタル元々

ハシ

廿三日夕刻、元新津機関庫員、笠井川徳五郎、本長
文部省二令員及レ報考新聞記事、サニ根ナルヲ
説明シ、本人等、立場、千鶴、八里廿四日直江津ニ向
ヘリ

斯、如キ状況ニシテ、硬派文部員、益々結束ヲ固ウシ
飽近隣退ニ防止セント如ガノ車両支那員、新潟同犯
事調査ヲ理由トシ、晚退ニ見伍ニ兩者宣々協議シ
重不居ル未ダ懲役ヲ決定スルニ至リ久

(以上長野縣)

十二月二日機関車某號貢金、本部、於テ臨時支
那長、今、議開催、未出席、今長、田中利三郎
副會長大場平治、秀紀松、又、餘次、遠川支那長服
部久吉、外名支那長(相生支那長)除之幹子
等約三十七名、在記事項ヲ協議シ散會シタリ

(一)新津事件ニ關スル件

更ニ協議ヲ重不文ル上乃第大臣及鐵道次官實
ヲ訪問シ、交渉スル際、定ナリト云フ

(二)犠牲者名号二列八件

今四、犠牲者、固義雄、及、餘木市郎、兩名ヲ、本部
平易員トシテ、當分勤務セムニ可決

(三)基本、金額立方法、件

從前通り各支那、保養之選、庚更ニ十二月中